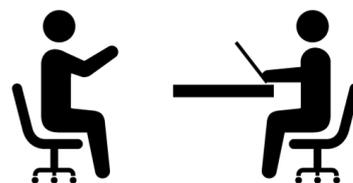


2021年6月 進路LHR 実施しました！

卒業してからの自分について、考え出すのはいつからなのでしょう。

5月の下旬、桃谷高校 定時制の課程では毎年、進路LHR(ロングホームルーム)が開かれています。進路指導の先生を中心に、各年次でテーマを分けて、進路について考えます。今年はどうなったのか。各年次の取組を見てみましょう。



<p>1年次 『夢を見つけよう』 桃谷高校を卒業した先輩3人が登壇してくれました。それぞれの就職先や進学先の話から、桃谷高校で自分が取り組んできたところまで、生徒の質問を交えながら楽しく話をしました。</p>	<p>2年次 『仕事との付き合い方 「関わり』』 多くの桃谷高校生が従事するアルバイト。そんなアルバイトに取り組む中でどうしても避けては通れないのが人間関係の作り方です。2年次では、アルバイトを事例にいかにして、他者との関係作りをしていくかについて考えました。</p>
<p>3年次 『「自分が育てたい力」を考える』 そろそろ卒業が見えてくる生徒もでてくる3年次。未来を見据えるなかで、自己分析を通し、自分が伸ばしていく力について、社会の流れの学習を通し、これから求められてくる能力について考えました。</p>	<p>4年次 『自己PRを考えよう』 就職活動間近の生徒の多い4年次では、実際に応募する企業を職種から選び、自分の強みを伝える自己PRを実際に作りました。自分と向き合うのはエネルギーを使いますが、意欲的に取り組みました。</p>
<p>生涯学習 『生涯現役であるために』 これまでの人生を振り返ったあとに、ある書店員の仕事との向き合い方に関する映像を鑑賞しました。その後、就職活動を控えた一般コースの生徒への応援メッセージを書き、充実した時間となりました。</p>	

将来について具体的に考えたり、他者とのかかわりを通して自分自身を見つめたり、自分がどんな場所で輝けるか考えたり、各年次それぞれで非常に有意義な時間を過ごせたようです。

進学も、就職も、桃谷高校ではこの6月より、いよいよ指導が本格的に始まります。

卒業後を見据えて、考えるということは、高校在学中いつ始めてもいいものです。先行きの見えない不安が押し寄せるコロナ禍の中でも、このような充実した機会を、進路指導部として、これからも続けていく方針です。



写真(1) 進路LHRの様子(3年次)